

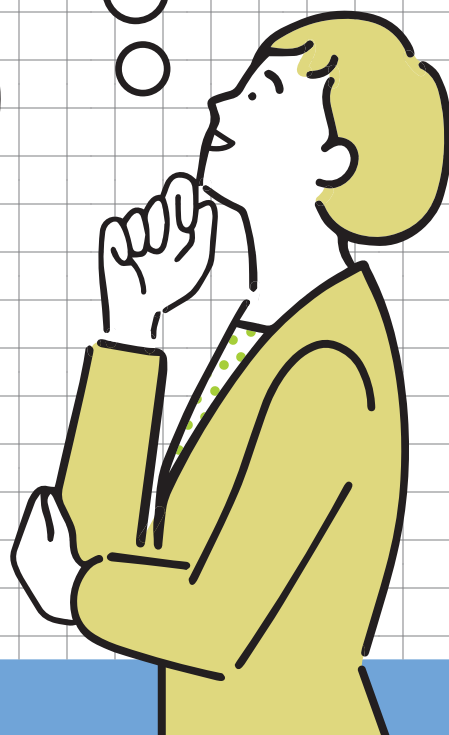
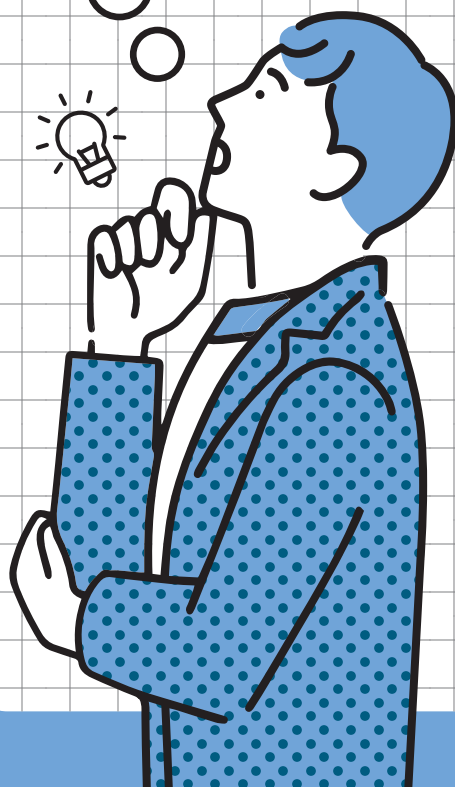
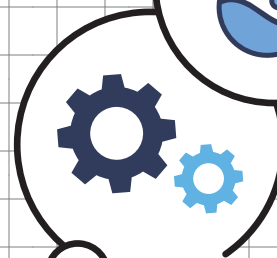
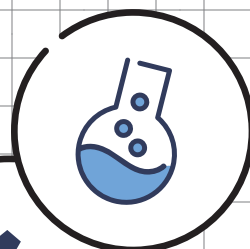
青嵐

題字:阿南 惟正 初代理事長筆

Vol. 54

Contents

- 02 | 2020年度 大学卒業者の就職状況について
- 04 | 受験生応援サイト・教員紹介
- 06 | 北九州市立大学の魅力ある学生プロジェクト紹介
(オープンキャンパスプロジェクト・魅力発信プロジェクト・421Lab.・生協学生委員会)
- 08 | 2021年度 成績優秀者表彰式
北九州市立大学生協のお知らせ
(サポートデスク)



..... 2020年度 大学卒業者の就職状況について

就職率

98.3%

※就職率=就職者/就職希望者

01 就職率

北九州市立大学における「2020年度学部卒業者の就職率(就職希望者に占める就職者の割合)」は、**98.3%となり、今回も高水準を維持しました。**(就職率の推移:右記資料のとおり)

これは、**全国平均の96.0%に比べ2.3ポイント、九州地区平均の95.1%に比べ3.2ポイント上回っています。**

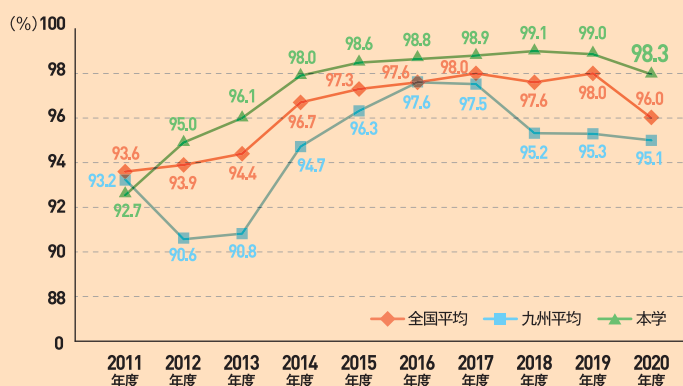
学部別の就職率では、**地域創生学群が100%を達成しました。**
(卒業生輩出以来9年連続)

北九州市内への就職率については、**18.4%(対前年度-1.1ポイント)**でした。

今回の就職率の高水準の維持は、

- (1) 7月以降の未内定者に対して、職員による学部担当制を実施し、学生相談室との連携や、教員と職員が連携し把握に努め学生の希望に沿う、個別にきめ細かい就職支援を図ったこと
- (2) 卒業後に就職活動を行う予定の学生に対して、キャリアカウンセラーによる電話相談を実施。希望者には在学中の就職活動を支援したこと
- (3) キャリアカウンセラーやハローワークによる求人紹介会を実施。未内定の学生に対し、採用活動継続中の企業を紹介したこと
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでのキャリアカウンセリングや企業説明会を実施したこと等によるものと考えています。

就職率の推移



卒業生からの Message

ソフトバンク株式会社

長野 陸さん 国際環境工学部 情報メディア工学科 / 国際環境工学研究科 情報工学専攻 2020年 3月修了

AI関連の研究開発とそれをビジネスに落とし込むプロジェクトに関わることができる部分に惹かれ、ソフトバンク株式会社に入社しました。同期及び先輩社員はエンジニアという技術的な視点と、ビジネスロジックという社会的な観点の両方で抜きん出たスキルを持った方々ばかりで、毎日とても良い刺激を受けています。

大学では幅広いITの知識及び技術を身につけ、大学院ではそれらの知識を農業に生かすという研究を行っていました。そこで得た「他業種への技術応用力」は、現在行っている会社のプロジェクトでとても役に立っています。

北九州市立大学に通って良かったことは、工学部という枠組みに所属していながら「環境」という学問についても学べたことです。現在、SDGsなど持続可能な社会を目指す取組が日本のみならず世界で行われており、それを環境モデル都市である北九州で学べたことは、とても良い経験だったと思います。



02 きめ細やかな個別対応

学部別担当職員が常駐し、教員と連携しながら学生の支援を行います。また、国家資格を持つキャリアカウンセラー4名も交替で常駐、個別の相談も受け付けています。

03 特色ある就職支援

公務員研究室

2014年度から公務員専門学校と連携して「公務員研究室」を開設しています。1～3年生は、ガイダンスで最新の試験内容や対策を知ることができます。4年生は、個別指導による2次試験の面接対策を受けることができます。



エアライン特別講座

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象とした「エアライン特別講座」を実施しています。現役の客室乗務員等から航空業界の現状や業務紹介のほか、プロフェッショナルの仕事、キャリアプランについて学んでいます。



04 就職支援パートナーシップ制度

本学では、出身地近郊で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を実施しています。これにより本学の学生は、就職を希望する地域の全国13大学で、就職支援、就職関連資料の閲覧、就職ラウンジの利用など、本学と同様の支援が受けられます。



05 学生主体の実践プロジェクト (1～3年)

実践的な活動の中で、仕事をするために必要な素質、能力を身につけてもらうことを目標としています。

JOB×Project

学内での「合同業界研究セミナー」や「合同企業研究会」を、学生が、企画から企業への参加交渉、当日の運営までの全てを行います。



卒業生からの Message

トヨタ自動車九州株式会社

花島 汐香さん 文学部 比較文化学科 2020年 3月卒業

「世界に通用する自動車メーカーで働きたい!」という想いで入社しました。現在は調達部に所属し、地場仕入先様と共に「九州で競争力あるクルマづくり」を目指して原価低減活動に取り組んでいます。製造現場に出向き、改善を進めるのはとても難しいですが、世界トップレベルのレクサス車づくりに携われることにやりがいを感じています。「挑戦」や「改善」を尊重する社風の下、失敗を恐れずに日々業務に励んでいます。

在学中は、比較文化学科でアメリカ文化を専攻しました。各国の様々な価値観・文化を学んだことは、多角的な視点で物事を捉えることに役立っています。

北九州市立大学は就職支援が手厚く、頑張る人に寄り添って応援してくれます。お陰様で第一志望の企業に就職できました。

在学中、たくさんの仲間と出会い、たくさんの気づきをえました。それらは今の私の財産となっています!是非、楽しく有意義な学生生活を送ってください!





受験生 応援サイト・ 教員紹介

受験生や保護者、高校教員などを対象に、北九州市立大学の魅力を広く発信するため、2020年10月「受験生応援サイト」をOPENしました！ 本学への理解と関心を高め、進学意識の向上を目的としています。

今回は「受験生応援サイト」掲載の3名の先生を紹介します。（法学部、地域創生学群、国際環境工学部の先生については、次号以降に掲載予定です。）



受験生応援サイト

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/examinee/jukensei/>

研究の魅力

My research concerns the American author Henry Miller and his relationship with Japan. While Miller may not be famous in Japan today, during the 1960s and 1970s, he was hugely popular due to his marriage to the jazz singer Hoki Tokuda ホキ徳田. Miller also held strong feelings for Japan. This research is appealing since this connection between Miller and Japan has never been explored. Through field research, I have been able to discover 100s of Miller's letters here in Japan. All of these elements help reveal a closer connection between artists in America and Japan.

私の研究は、アメリカ人作家ヘンリー・ミラーと日本との関係に関するものです。ミラーは日本ではあまり有名ではないかもしれませんが、1960年代から1970年代にかけて、ジャズシンガーのホキ徳田さんと結婚したということで、非常に人気がありました。

ミラーはまた、日本に対して強い愛着を持っていました。このミラーと日本とのつながりについては、日本ではあまり探索がなされてこなかったことで、とても魅力的です。日本での実地調査を通じて、100通以上のヘンリー・ミラーの手紙を発見してきました。これらは、日本とアメリカのアーティスト同士の深い繋がりを明らかにする助けになると思います。

My future project will help bridge the gap between Japanese scholars and the rest of the world.
日本人研究者とその他の国との橋渡しをしたい



外国語学部 英米学科

Wayne E. Arnold 准教授

(アーノルド ウェイン.E.)



研究の源

This interest in Japan and Henry Miller began when I was doing archival research on Miller at the University of California, Los Angeles. I was surprised to see so many letters to Miller from Japanese people. When I returned to Japan, I discovered that there was the Henry Miller Society of Japan 日本ヘンリー・ミラー協会 and with the help of Professor Emeritus Honda Yasunori 本田康典 I was able to begin my detailed research on Miller and Japan.

日本とヘンリー・ミラーについて興味を持ったのは、UCLAで記録文書の調査を行っていたときでした。たくさんの方々がミラーに宛てて手紙を書いていたのを知って、非常に驚きました。そして日本に戻った時、「日本ヘンリー・ミラー協会」というものがあるのを知り、本田康典名誉教授の助力のおかげで、ミラーと日本に関する詳細な研究を始めることができました。

研究の未来

The current stage of my research is writing a book on Henry Miller and Japan. After completed, I will begin creating an overview of the trends and shifts in the academic research on Henry Miller. Since I am the first Western scholar to examine the extensive Japanese research on Miller, I will be able to incorporate the trends in Japanese research. No Western scholars have approached the vast material concerning Miller and Japan due to the language barrier. This future project will help bridge the gap between Japanese scholars and the rest of the world.

現段階では、ヘンリー・ミラーと日本に関する書籍を執筆しているところです。執筆を終えたら、ヘンリー・ミラーの学術研究の動向と変遷について概要をまとめたいと考えています。私は日本で広範なミラー研究を行った初めての西洋人研究者ですので、日本の研究における動向を取り入れることができると思います。言語の壁のために、西洋人研究者は多くの研究資料を手に入れることができませんでした。将来的には、日本人研究者とその他の国との橋渡しをしたいと考えています。

ゼミのイチオシ

In the seminar we explore the ideas behind the American Dream, focusing on New York City as a key location in the pursuit of the American Dream. In the first speech of his presidential campaign, Donald Trump claimed that "sadly, the American Dream is dead!" There are varying goals within the American Dream and our task is to determine what is this dream and if this dream is still alive. Key areas that will be examined include consumerism, urban environments, and American identity. The end goal of this seminar is to help broaden your perspective and understanding of American individuality while also providing the opportunity to contrast the national identities of the United States and Japan.

私のゼミでは、アメリカンドリームを追求する鍵となる場所として、ニューヨークに着目しながら、アメリカンドリームの背後にある考えについて考察していきます。ドナルド・トランプ前大統領は選挙演説の中で、「悲しいことに、アメリカンドリームは終わってしまった!」と言いました。アメリカンドリームには様々なゴールが含まれます。そして、私たちの目的は、このドリームとは何か、それがまだ生き続けているのかを見つけ出すことです。鍵となる重要な調査分野には「大量消費主義」「都市環境」「アメリカの独自性」が含まれます。このコースの最終的な目標は、アメリカと日本の国家としての独自性を比較しながら、自身の視点を広げ、アメリカの個性への理解を深めることです。



研究の魅力

どの分野の研究にも共通することかもしれませんが、新しい物事を発見・証明するということは、知的好奇心をくすぐるものではないかと思えます。私の場合は、「多重ゼータ値」や「多重ゼータ関数」というものが専門で、それは純粋数学の対象です。

多重ゼータ値について簡単に説明しますと、それは

$$\zeta(k_1, \dots, k_r) = \sum_{0 < n_1 < \dots < n_r} \frac{1}{n_1^{k_1} \dots n_r^{k_r}}$$

で定義される実数で、和公式や双対公式と呼ばれる基本公式を始めとした公式群があり、奥深い代数的背景を持つのが特徴です。また、結び目理論や物理数学との関係があるなど、様々な分野との関わりも知られています。

上記に加えて、私は経済数学のような応用数学にも興味があり、特に一般均衡理論のような理論経済学についても研究をしています。理論経済学では、線形計画法と呼ばれる高校数学でも少し登場する話題を一般化したような対象について考え、そのような対象について、数学的に考察していくことがテーマとなっています。

研究の源

現在の研究を始めたきっかけは、学問的な内容に興味があったからというよりはむしろ、勧められて始めたという言い方が正しいように思います。師匠からいただいた教科書を（当時は若干忙しかったので）バスの中などで読み進めながら、勉強していたように思います。簡単な計算からスタートし、徐々に少しずつ、新しい発見に繋がるような成果を出していけるようになったと思います。

研究の未来

私の研究テーマは、先にも述べたように「多重ゼータ」と呼ばれる対象で、個人研究・共同研究で、この対象について研究しています。個人研究では、計算機を積極的に活用しながら研究を進めています。また共同研究は、共同研究者と協力しながら研究を進めていくことになりますが、彼らは単なる仕事上のつながりであるという



よりはむしろ、人間的に信頼・尊敬できる方が多く、その意味でも私にとって重要です。

研究内容としては、ここ数年でできあがった数学的な仕事（結果）があるので、それらをさらに発展させていくことを考えています。

ゼミのイチオシ

私のゼミの特長は、和気藟々としながらも、学問に対しては真剣に取り組むところを重視しています。これはゼミ活動としては当たり前のことかも知れませんが、各々が主体的に勉強したいと思える環境作りを大切にしています。

新しい物事を発見することは、知的好奇心をくすぐります



経済学部 経営情報学科

村原 英樹 准教授

研究の魅力

「絵なんて好きに見ればいい。」確かにそのとおりでもあります。でも、実は絵にも歴史があって、描き方のルールがある。「作品の見方」というものがある。どんなに突飛に思える絵でも、先人からの技法や考え方を受け継ぎ、その延長線上に位置づけられます。このことを知ると、美術作品からたくさんのが見えてきます。人は美術で何を表現したかったのか——制作された当時の人々の考え方、社会、文化など、様々なことがらが分かってくるのです。

美術史とは、人は何を目指してきたのか、どういったものを獲得してきたのか、という人類の歴史を探ること、いわば文明史です。美術から世界がみえてくる…これが美術史の一番面白いところかもしれません。

研究の源

本物に触れることは楽しい。作品を目の前にするたびに思うことです。

見ていて「好き」と思える作品、心地よい作品、胸が締めつけられるような作品…様々なタ

イブの作品を实际目見て、画家やモデル、さらには描かれた時代や社会などの背景を探り、なぜその作品が誕生したかを研究する。作品に対し自分なりの解釈を導き出せたとき、最も心躍ります。

研究の未来

近年、アートフェスが町の活性化に一役買っていたり、美術市場でアートが驚くほどの高値で売買されていたりします。これには賛否両論ありますが、いずれにせよ、美術が社会で果たすべき役割が広がり、その重要性が一層認識されてきた証です。そうした動向に目を向け、美術と社会とのかかわりをより広い視点でとらえていくことが今後の研究の支柱となりそうです。



ゼミのイチオシ

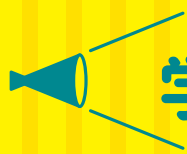
西洋美術史の中心は「作品をみる」こと。ゼミでは美術史の通史から担当箇所を決め、毎回プロジェクターに作品を映しながら発表し、討議を重ねます。みんなで同じ画面を見て発表しあうと、自分だけでは気づきえなかった部分にも目を向けられます。作品のどこに注目するのかにもゼミ生の個性がうかがえます。作品を通し、それぞれの趣味や考えなどが見えとても面白いです。

美術から世界がみえてくる…これが美術史の一番面白いところ



文学部 比較文化学科

門田 彩 准教授



北九州市立大学の魅力ある 学生プロジェクト紹介

(オープンキャンパスプロジェクト・魅力発信プロジェクト・421Lab.・生協学生委員会)



本人：右



オープンキャンパスプロジェクト

原田 真衣さん 外国語学部 国際関係学科 3年

魅力発信プロジェクト

今村 清楓さん 経済学部 経営情報学科 3年

01. プロジェクトの活動内容について

オープンキャンパスプロジェクトは、毎年夏に行われるオープンキャンパスに向けて、イベントの企画から当日運営までを一括して行う学生団体です。活動期間は4月から7月までの3か月間ととても短いですが、高校生に北九大の魅力を伝えるべく、スタッフ総勢70名で一丸となって活動しました。今年度は感染症対策を十分に行った上で、7月23日・24日に無事、来場方式でイベントを成功させることができました。

02. 活動を通して成長できたと感じること

私が活動を通して一番成長できたと感じることは、視野が広がったということです。今年度はプロジェクトリーダーとして、プロジェクト全体を見ながら、外部と連絡を取ったり、スタッフ一人一人のサポートをしたりと仕事の幅が格段に広がりました。関わる人も、こなす仕事も多かったのですがとても大変でしたが、その分、多くの人の支えがあってイベントが作られていることを実感でき、周囲に対する感謝の気持ちでいっぱいでした。

03. 北九大を目指す方々へのメッセージ

北九大は何でも自分のやりたいことを叶えることができる場所です。私自身この3年間で、オープンキャンパスプロジェクトを始め、空港でのインターンシップや留学など、大学生になったらやりたいと思っていたことをほぼ全て叶えることができました。これほど大学生活が充実しているのは、私の周りに尊敬できる先輩や信頼できる同級生がたくさんいてくれるからです。皆さんも北九大で素敵な仲間と一緒に夢を叶えませんか。

01. プロジェクトの活動内容について

魅力発信プロジェクトは、大学に来た高校生に向けて、広報の一環としてキャンパスツアーや大学生活についてのプレゼンテーションを行う等の活動をしています。活動を通して、北九大の魅力を知ってもらうことを目的としています。また、実際に高校生と交流し、大学生活をイメージしてもらい、大学や入試に向けての不安を解消することも目的としています。

02. 活動を通して成長できたと感じること

活動を通して成長したと思える点は2点あります。1点目に、プレゼンテーション能力がついたことです。このプロジェクトでは数十人の高校生の前でプレゼンテーションを行う機会が多々あるため、人前で話すことに慣れ、人にわかりやすく伝えることができるようになりました。2点目に、コミュニケーション能力がついたことです。高校生や学校の先生方と話し、相手の質問に答える中で、コミュニケーション能力が身につきました。

03. 北九大を目指す方々へのメッセージ

北九大では様々な経験をすることができ、協力してくれる仲間もたくさんいるので、本当に充実した大学生活を送ることができると思います。また、北九大に入ることによって、自分がしたいことも見つかると思います。これから受験勉強等大変になってくると思いますが、合格したら楽しい大学生活が待っているのだから、休息もとりながら、頑張ってください！皆さんの成功を願っています！



421Lab.

山越 悠聖さん 法学部 政策科学科 2年



生協学生委員会

石田 裕紀さん 国際環境工学部
エネルギー循環化学科 4年

01.プロジェクトの活動内容について

421Lab.の活動としては地域社会と大学をつなぎ、地域課題の解決に貢献することを大きな目的としています。地域課題の解決のために現在421Lab.には、国際関係や子どもとの交流、地球環境など16のプロジェクトが活動を行っており、多くの北九大学生が地域課題の解決のための活動に参加しています。また、421Lab.では地域で活動を行う学生の学びや成長もサポートしており、持続可能な社会を担う人材の育成にも取り組んでいます。

02.活動を通して成長できたと感じること

421Lab.での活動を通して、企画などを考えるアイデア力や先読みして行動する力は成長していると感じます。講義でアイデア力が問われる問題が出てきても、柔軟に考えることができるようになりましたし、先読みする力はリスク回避やスケジュールの管理に役立っています。また、以前は自分の意見に自信がなく発言できていませんでしたが、421Lab.の活動で自分の意見を共有することの大切さを知ったので、今は積極的に発言できるようになりました。

03.北九大を目指す方々へのメッセージ

私は、北九大を推薦入試で失敗して、一般入試でリベンジしました。当時は絶望していましたが、今は421Lab.の活動に携わりながら、その他6つのサークルを掛け持ちしており、毎日忙しいながらもとても充実した日々を送っています。皆さん今は大変なことばかりだと思いますが、大学生になったら自由な時間が増え、気になったことに何でも挑戦できます!北九大を目指して頑張ってください。応援しています!入学したら421Lab.と一緒に活動しましょう!

01.プロジェクトの活動内容について

私は、生協学生委員会という学生団体の委員長をしています。生協学生委員会は新生のための友達作りの場を設けたり、大学生向けの様々な企画を考えたりする学生団体です。特に今年は、オープンキャンパスの開催に向けて、学部1年生から大学院生までが一つとなって準備を行いました。当日は、学生によるお悩み相談コーナーやポスターによる学科紹介などを行いました。参加者の方が笑顔で帰られる姿は、私たちのやりがいにも繋がりました。

02.活動を通して成長できたと感じること

大学に入ると専門的なことについてたくさん学ぶことになりました。しかし、サークルや部活、私たちのような学生団体でも学べることはたくさんあります。私は活動を通して人前で話す力を養い、チームで一つのものを作り上げることの大変さや楽しさを学びました。このような体験は大学の講義では味わうことができないと思いますし、これらの経験を通して学んだことは就職活動でも非常に役に立ち、4年間活動を頑張った良かったなと心から思っています。

03.北九大を目指す方々へのメッセージ

私も4年前は、皆さんと同じように受験勉強に励んでいました。行きたい大学に行けるかどうか不安を抱えながら勉強をするのは大変だと思います。しかし、一つ大切にしてほしいのは「大学合格がゴールではない」ということです。大学に入学した後、学びたいことややりたいことに対してどう取り組むかで、大学生活は一人一人大きく変わっていきます。皆さんも自分のやりたいことに向かって体調に気をつけながら頑張ってください!心から応援しています。

2021年度 成績優秀者表彰式

本学では、学業成績が特に優秀で他の学生の模範となる学生を、成績優秀者として表彰しています。

成績優秀者表彰制度



最優秀賞 対象/4年次・各学科1名(計15名)

優秀賞 対象/2~4年次

奨励賞 対象/2~4年次

※選考基準は各学部・群により異なります。



北方キャンパス 最優秀賞受賞者

学 部	学 科	氏 名
外国語学部	英米学科	井手野 ななみ
	中国学科	藤本 結花
	国際関係学科	烏田 理英子
経済学部	経済学科	白野 聖卓
	経営情報学科	別府 惇
文学部	比較文化学科	舛本 佳蓮
	人間関係学科	吉柳 裕佳
法学部	法律学科	伊賀 武蔵
	政策科学科	高松 葉名
地域創生学群	地域創生学類	倉地 ひとは

ひびきのキャンパス 最優秀賞受賞者

学 部	学 科	氏 名
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	土井 和也
	機械システム工学科	石井 達也
	情報メディア工学科	山本 彪雅
	建築デザイン学科	生雲 楓
	環境生命工学科	佐藤 裕梨

北九州市立大学生協のお知らせ

サポートデスク

2019年度からスタートし、2020年度から本格開始しています。毎年、半数以上の新生者が生協でパソコンを購入されていますが、購入された皆さんが4年間安心してパソコンを利用できるサービスです。さらに、社会に出てもパソコンが使えるように、パソコンスキルを向上させる機会を提供していきます。2020年度からオンライン授業が進む中、パソコンの使用頻度が増え、オンラインで対応・困ったことがあればすぐ聞けるよう、LINEのチャット機能を利用しパソコンに関する相談を受けています。お忘れないうち当サービスをご利用ください。

サービス内容

パソコン設定&お渡し会 ①

- 初期設定、初期不良チェック、Officeインストールサポートを実施します。

ふれあいパソコン点検会(10月頃予定) ② (2019年度の様子)

- メーカー担当者による点検会で、160名程度の利用があります。

ヘルプ(パソコンのトラブルやお悩みの解決) ③

- 修理前のデータバックアップなどのお手伝いからパソコンのトラブル対応について

チャレンジ(パソコンをさらに使いこなせるワークショップ開催) ④

- OneNote活用講座/上級生向け「ビジネスで必要なExcel活用講座」/就活スケジュール講座

※2020年度から生協パソコン購入者に含まれている学生組合員向けサービスです。詳しくは当生協のHPをご覧ください。



今後予定しているサービス拡充

IT知識を高めるためのワークショップ

GIGAスクール構想などAIを使いこなせる人材が必要な社会に変化する中、生協では楽しく、創造性を刺激するような体験型のワークショップを予定しています。

お問い合わせ先

北九州市立大学生協同組合 <https://kyushu.seikyoku.ne.jp/uk-coop/>

